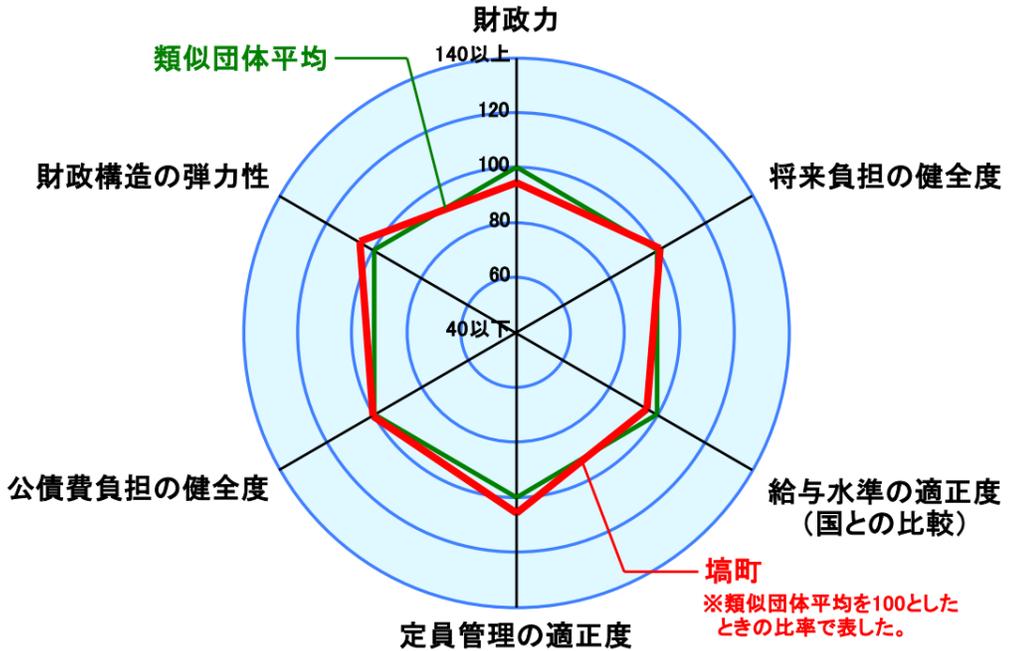
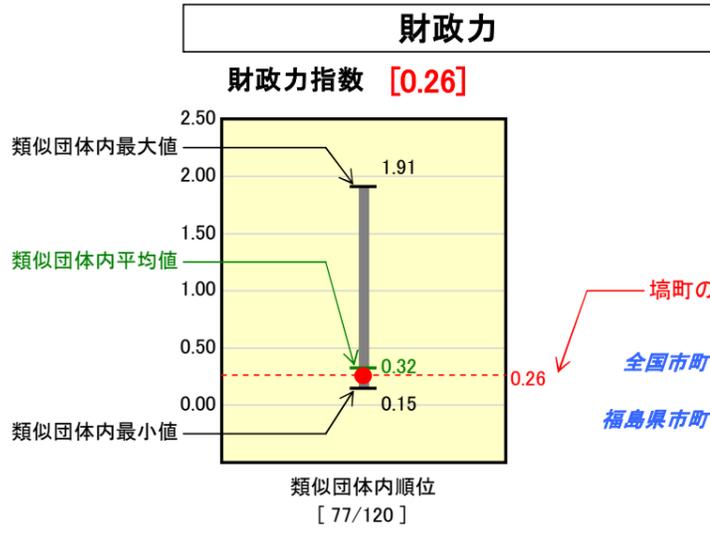


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 塙町

人口	10,883 人(H17.3.31現在)
面積	211.60 km ²
歳入総額	5,048,620 千円
歳出総額	4,889,336 千円
実質収支	120,967 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数: 類似団体(人口10,026人、面積114.26km²)と比較し、同程度の人口で倍近い行政面積を抱えるため行政コストは割高となり、財政力指数は類似団体平均を若干下回っている。今後は、財政基盤強化のため企業誘致を推進し(平成17年度企業誘致推進室を設置)、町民所得向上に努める。

経常収支比率: 地方分権の進展による町が実施するサービスメニュー(保健衛生や高齢者・障がい者への福祉施策等)拡大と、三位一体改革による補助金の一般財源化により、歳出に占める経常的経費の比率と経常的経費に占める一般財源の割合は高まっている(1582.3%)。現状では、類似団体平均値を下回っているが、第4次塙町行財政改革大綱に沿って、更なる人件費の抑制や事業の見直しに努める。

起債制限比率: 類似団体と同程度の水準だが、湯遊ランド湯岐整備事業(H6~H9)等の償還ピークである平成17年度に一部繰上償還を実施したため、平成18年度で8.0%程度まで低下する見込である。今後も新規発行を過疎債・辺地債に限定し(償還費用の70%・80%を交付税で措置されるため有利)、公債費の抑制を図る。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体と比較するとほぼ同程度となっているが、当町は、過疎・辺地に指定されている(過疎債・辺地債を発行できる)という特殊要因があるため、人口1人当たりの地方債現在高は全国平均・県内平均を上回っている。しかし、前述の繰上償還により、平成18年度には48万円程度まで圧縮できる見込である。

ラスパイレス指数: 現状では、職員平均年齢の上昇等によりラスパイレス指数は全国平均・類似団体平均値を上回っている。平成18年4月より、国県の給与構造改革にあわせ給料表の改正を行い、昇給カーブをフラット化することで、今後5年間で平成17年公表値の県内町村平均(93.6)以下に抑制する。

人口1,000人当たり職員数: 全国平均・県平均を上回っているものの、類似団体平均値よりは低く抑えられている。要因として、これまでの行財政改革の成果(保育園・老人ホーム・給食センターの嘱託化等で平成10年度比で職員数20人減)がある一方、人口の減少で、改善分が指標に現れてこないことが考えられる。今後は総務省通知による新たな定員適正化計画に基づき、平成22年度までに更に10人の職員を削減する予定である。

